

課題と対応について

■課題

<18歳で行う場合>

- ・高校3年生の1月という受験時期と重なるため参加しにくい。
- ・施行初年度（令和4年度）は3学年分同時の実施となる。
- ・上記について、関連業界（着物、写真館、理美容等）への影響も大きい。

<20歳で行う場合>

- ・改正民法の趣旨である「社会参加や社会的、経済的責任の意識と自覚」や成人の日を定める目的である「大人になったことを自覚し、自ら生き抜こうとする青年を励ます」などを新成人（18歳）にタイムリーに周知できない。
- ・成人祭というタイトル等の変更が必要。

■対応

①当事者等へのアンケートの実施

- ・市内中学校5校の中学3年生及びその保護者（7/16締切）（900人弱対象）
- ・スマホアンケート（7/10～7/19）（300～400人対象）
- ・インターネットアンケート（市ホームページにて）